



JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 齋藤英司

vol. 239

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

- ◎ 5月15日(水)
 - ・第3回中央地協幹事会(連合徳島会議室)
- ◎ 5月23日(木)
 - ・狭山事件の再審を求める県内集会(徳島駅前)
 - ・働く女性の労働相談ダイヤル街宣行動
- ◎ 5月27日(月)～28日(火)
 - ・働く女性の労働相談ダイヤル



写真上:美馬市、写真中:勝浦町、
写真下:阿波市との要請行動

連合徳島
公務労協

地公給与減額、撤回求め
県内全自治体に要請行動

連合徳島・公務労協は、
政府が国家公務員の給与減
額支給措置に準じて、地方
公務員の給与削減を求めて
いることに對し、4月8日・
9日・10日・17日の4日間、
県内25自治体(県含む)首
長、議長、議長要請行動を展
開し、河村会長、藤岡会長代
行をはじめ民間大手・中小
部会からも参加した。

要請行動では、①自治体
における給与決定は、労使
の自主的交渉によるものと
し、国からの強制による給
与削減を行わないこと。②
地方公務員の給与削減は、
地域経済に大きな影響を与
えることから、国に對して
給与削減の強制を行わない
よう求めること。③国に地
方公務員給与に係る地方
交付税の一方的な削減を行
わないよう求めること。な
ど3点を強く要請した。



要求獲得に向け団結ガンパロー

最後に、2013春季生
活闘争と政策・制度実現の
取り組みを運動の両輪と
し、さらに組織拡大の取り
組みを通じて、集団的労使
関係の拡大とその重要性を
訴えていく、とする中小春
季生活闘争アピールを参加
者全員で確認・採択し、平
井本部長の団結ガンパロー
で集会を閉じた。

4月8日、徳島市のふれ
あい健康館で、中小春闘勝
利・未解決組合支援徳島総
決起集会が開かれ、各構成
組織から110人が参加した。
集会では主催者を代表し
て平井中小対策本部長が
「今春闘でベアを獲得でき
た組合はわずか。極めて厳
しい闘いとなつていく。構
成組織のさらなる支援をお
願ひしたい」とあいさつ。
続いて、民間大手部会、官
公労部会、地場中小労組等
から、今春闘の取り組み状
況や妥結状況、今春闘にか
ける意気込みなど、力強い
決意表明が行われた。

第84回メーデー
働くことを安心社会めざし
軸とする



徳島中央メーデーには、1,300人が参加

に、一昨年3月に発生した
東日本大震災の被災地復興
支援強化に向け、岩手宮城・
福島3県のアンテナショッ
プから特産品を調達し、会
場で販売するなど、被災地
への連帯の輪も広げた。
徳島市新町川公園で開催
された徳島中央メーデー
は、各構成組織、福祉事業
団体から約1,300人が参
加。藤岡副実行委員長の開
会あいさつ、議長団に島副
会長と藤田女性委員会事務
局長が選出され、主催者を
代表して河村実行委員長
は、春闘情勢、参議院議員
選挙闘争について述べたう
えで「今ほど労働運動の真
価が問われている時はない。

人は働くことで人と繋がり
社会に参加できる。その実
感が安心と活力を生む。『働
くことを軸とする安心社
会』構築に向け全力で立ち
向かっている」と訴えた。
続いて、①2013中小
春闘未解決組合を支援する
特別決議、②STOP THE
E格差社会!暮らしの底
上げ実現に向けた特別決
議、③良質な公共サービス
の確立を求める特別決議、
「働くことを軸とする安心

県下5会場で大々的に開催

第84回メーデーが4月
29、5月1日の両日、県下
5会場で大々的に開催され、
約3,000人が参加。各
会場とも雇用や賃金など労
働環境改善を訴えることも

民間大手・官公労も支援
の春闘勝利に向け

社会実現に向け総力を結集
しよう」とするメーデー宣
言が提案され、全体の拍手
で承認・採択された。

徳島選挙区
連合徳島推薦
参議院選挙立候補予定者

未来を見据えてさらに前へ!!!
民主党 参議院議員
中谷智司

裁判闘争に向け決起

—ドイツ館従業員支援共闘会議発足総会—



闘争勝利に向け団結ガンパロー

不当解雇撤回で意思統一

連合徳島地域ユニオンは、4月17日、「ドイツ館従業員支援共闘会議発足総会」を開き、各構成組織から30人が参加し、闘争勝利に向けて決起した。

事件内容は、鳴門市から指定管理を受け、ドイツ館を運営している「ドム有会社」で働く組合員が、地域ユニオンに加盟したことで、会社側から「嫌がらせ」や「不当な配置転換」を受けた。その後、不当労働行為救済申立を労働委員会に行っていたが、会社側は、審議途中で解雇を通告。地域ユニオンは、解雇撤回の団体交渉を申し入れたが、会社側はこれを拒否した。



支援を要請するドイツ館組合員

以上を受け、地域ユニオン組合員は徳島地裁に、地位保全等の仮処分の申し立てを行ったが、不当にも申し立てを却下し加えて、労働委員会においても、公益委員が職場復帰を断念させるような発言するなど、中

地域ユニオン 賃金・労働条件の改善を 阿南バス労組を結成



8人が参加した結成大会

徳島バスの子会社である徳島バス阿南株式会社で働く労働者10人が、4月6日、賃金・労働条件の改善をめざし、阿南バス労働組合を結成し、連合徳島地域ユニオンに加盟した。

組合結成に至る経過としては、会社側が、労働者側に詳しい説明もなく就業規則等を改正し、賃金(手当含む)を大幅に削減し強行したことが理由。結成大会では、平井本部長(徳島県中小労働対策本部)が、「路線バス事業は、近年、委託事業費の削減や利用者減少により、経営状況が悪化。それに伴い、そこで働く労働者の賃金・労働条件の悪化が懸念されるが、より良いサービスを提供するには労働条件の改善が必要だ」とあいさつ。続いて赤松事務局長(地域ユニオン)が、当面する取り組みとして、4月13日に会社側と団体交渉を行うこと等を提起した。



地域ユニオンに加盟した阿南バス労組

家族で春闘集会に参加

東日本大震災復興支援も展開

3月24日、とくしま動物園で「2013春闘ふれあいファミリー集会」を開催し、各構成組織組合員家族ら1,500人が参加した。集会冒頭、河村会長が、「働くことを軸とする安心社会の実現をめざし、全ての働く人たちの処遇改善を連合徳島として取り組んでいきたい」とあいさつ。続いて、中小・零細企業の職場環境



各構成組織組合員家族ら1,500人が参加

改善を軸とした、春闘アピールを齋藤事務局長が提案。参加者の拍手で承認された。集会終了後、各構成組織等から提供された景品の抽選会を行い、参加者全員が参加。高額景品が当選されると子どもたちの歓声が鳴り響いた。なお、会場では電機連合、電力総連、連合徳島女性委員会、コーヒーを販売。売上金等(二九、六七〇円)は東日本大震災復興支援として、4月10日福島県に送金した。

狭山再審闘争を軸に

—第34回部落解放徳島地方共闘会議定期総会—



代議員60人が参加した共闘総会

第34回部落解放徳島地方共闘会議総会が3月21日、阿波観光ホテルで開催され、役員・代議員60人(委任状8人)が参加した。総会は、橋本副議長の開会あいさつで始まり、議長に西内代議員(連合徳島・

J.P.労組)を選出後、共闘会議を代表して河村議長は「狭山事件発生からまもなく半世紀を迎える。これまで12回にわたる三者協議が開かれ、百点あまりの証拠開示が行われたが、検察は殺害現場を特定するための、重要な捜査書類については、未だ、不見当と回答し納得できる説明もしていない。これまで弁護団が提出した新証拠・鑑定も含め、事実調べを開始すべきとの世論を高めていく必要がある」とあいさつ。

総会では、1年間の活動報告・決算報告、監査報告が行われるとともに、活動方針では、部落問題・人権問題についての学習・教宣活動の推進、人権教育・啓発推進法を活用した取り組みや、人権政策確立、狭山第三次再審闘争を軸とした取り組みが提案され、全

当面する取り組みを確認

吉野川市議選に阿佐勝彦氏を推薦
連合徳島は、4月3日に開催した、第6回執行委員会で、5月12日告示・19日投票の「吉野川市議会議員選挙」に立候補予定の阿佐勝彦氏(「J.P.労組」)を推薦することを決定した。阿佐さんは、昨年10月に行われた、補選で市議会議員に当選。今回2期目の挑戦となる。告示まで半月。各構成組織の支援をお願いしたい。